

# 令和8年度 丹波市の教育 重点施策

丹波市では、令和8年度に教育に関する8つの重点施策に取り組みます。  
今回取り上げた、こどもが描く学校図書館づくり支援事業も、「8こどもたちの学びを支える環境の整備・充実」として、この重点施策のうちのひとつです。そのほかにも力を入れて取り組んでいきたい様々な項目があります。

## 1 一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな教育の推進

教職員の専門性のさらなる向上のため、研修の充実をすすめるとともに、2年目となる特別支援教育専門家チームの活用を推進します。併せて、有識者、学校教育関係者で構成する特別支援教育プロジェクトチームを新たに設置します。また、学校に行きづらい児童生徒の将来の社会的自立に向けて、教育支援センター「レインボー」と丹波市地域つながりセンター「ここから」との連携を深め、支援体制を整備します。

## 2 部活動の地域展開の推進

部活動の地域展開を推進するため、認定地域クラブへの補助金を新設し、地域や家庭、関係機関と連携しながら、中学生がやりたいスポーツ・文化芸術活動を継続できる環境整備を図ります。

## 3 乳幼児期の教育・保育の推進

すべてのこどもが格差なく小学校での学びへと接続できるよう幼児期及び架け橋期の教育の質の向上を図ります。また、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施施設を増やし、良質なこどもの育ちの環境整備を図ります。さらに、保育士不足の解消に向け、子育て支援員研修を3年ぶりに実施します。

## 4 地域学校協働活動の充実

学校と地域の連携を強化するため、地域学校協働活動推進員を全小学校に配置するとともに、「たんばふるさと学」を地域学校協働活動に統合し、学校（学び）を核とした地域づくり、人づくりの実現をめざします。併せて、地域づくり交付金のメニューに地域学校協働活動にかかる経費を上乗せし、地域の主体性の増強を図ります。

## 5 丹波竜化石発見20周年記念事業 大恐竜展の開催

丹波竜化石発見から20周年を迎えるにあたり、世界で初めて発見された新属新種の恐竜の全身骨格を展示の目玉として、「白亜紀の恐竜」をテーマに特別展（2026秋予定）を開催し、常設展では学習できない化石などについて学ぶ機会を提供します。

## 6 親しみを感じる図書館づくりの推進

丹波市図書館基本計画（丹波市子ども読書活動推進計画）の基本理念「市民に寄り添い ともに学ぶ、つながる、つくる みんなの図書館」をめざして様々な取組を展開していきます。電子図書館と児童生徒1人1台端末の連携を活用し学校利用向けコンテンツを更に増やすとともに、学校図書館と公共図書館が相互に連携を図り、こどもの読書活動を推進します。

## 7 学校給食の無償化

国の「給食費負担軽減交付金事業（仮称）」を活用し、小学校児童全員の学校給食を無償化するとともに、引き続き中学校生徒全員の学校給食無償化に取り組み、さらなる子育て支援を図ります。

## 8 こどもたちの学びを支える環境の整備・充実

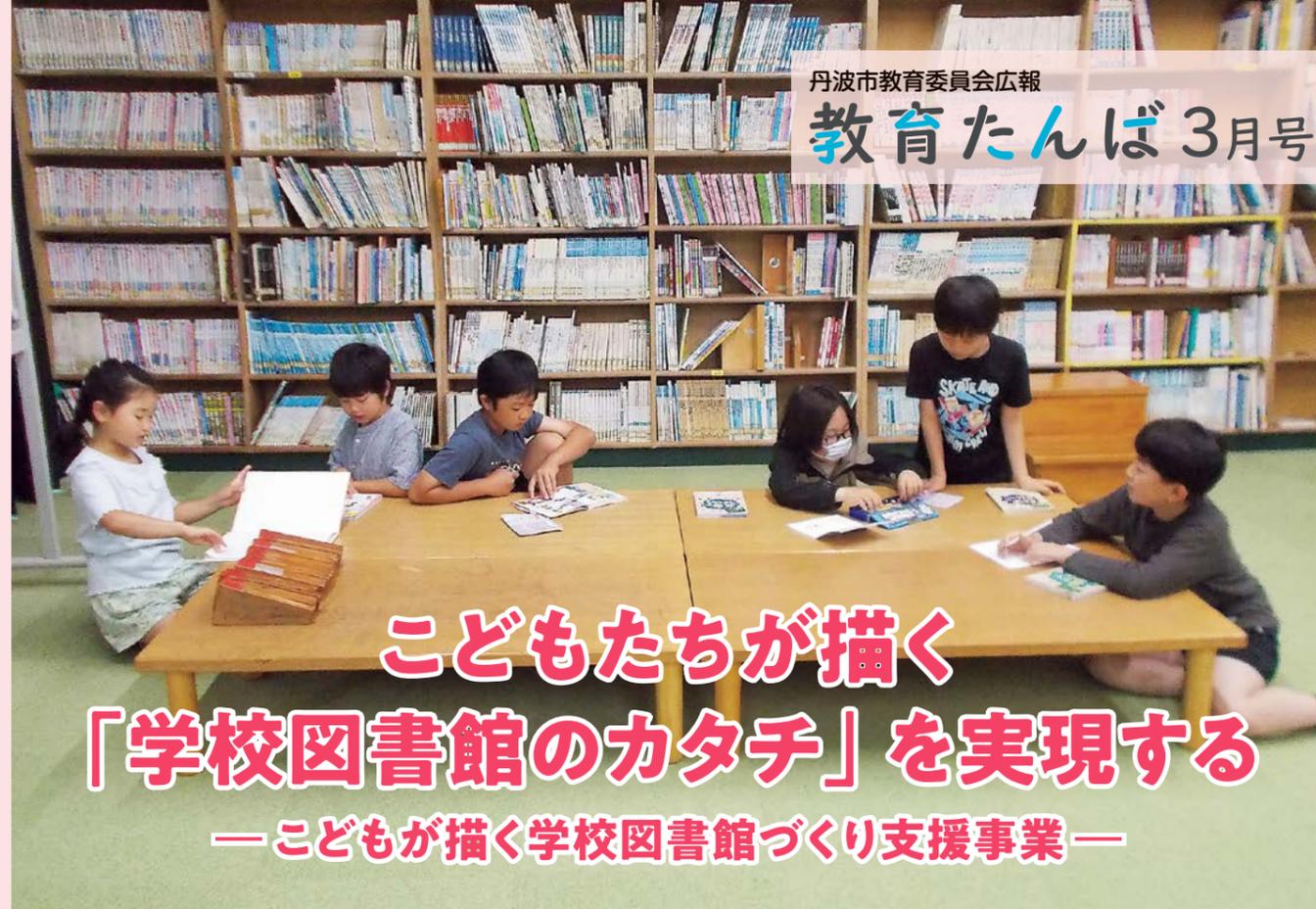
熱中症対策及び快適な学習環境整備のため、小学校の特別教室の空調設備設置と体育館の照明のLED化を実施します。また、こども提案による学校図書館づくりに引き続き取り組むとともに、校務機能のクラウド環境への移行及び校務用と指導用を一体化した教職員用タブレット端末を導入し、校務DXを推進します。



丹波市の教育重点施策を踏まえた「令和8年度丹波市の教育（実施計画）」は、HPに詳しく掲載しています。

丹波市教育委員会広報

教育たんば 3月号



## こどもたちが描く 「学校図書館のカタチ」を実現する —こどもが描く学校図書館づくり支援事業—

学校図書館は、こどもたちが大切な本と出会い、読書の楽しさに触れる「読書活動の拠点」です。また、こどもたちの学習活動を支援したり、情報の収集・選択・活用能力をはぐくんだりする「学びの拠点」でもありません。そして、安心して過ごすことのできる「居場所」としての期待も高まっています。

そこで、学校図書館をより魅力あふれる場所にするため、学校、保護者、地域住民でプロジェクトチームを形成し、当事者であるこどもたちの意見を尊重しながら学校図書館のリニューアルに取り組むプロジェクトを立ち上げました。令和7年度からの3年間で、市内すべての小中学校で順次実施していきます。

### 事業のポイント

#### ① こどもの意見を最大限尊重します

- アンケートや学級会、こどもと大人の意見交換会など、こどもが意見表明する機会を様々な形で創出し、すべてのこどもたちの思いや願いを汲み上げています。
- こどもの代表をプロジェクトチームに招くなど、こどもが参加・参画する機会を創出し、当事者であるこどもの意見を最大限尊重しながら事業を進めています。

#### ② 地域と学校の協働により進めます

- 地域に開かれた学校図書館となるよう、学校、保護者、地域住民でチームを構成し、学校図書館の在り方を考えています。日頃から学校の読書活動を支援していただいている読み聞かせグループや公共図書館の司書など、積極的に地域人材も取り入れています。
- リニューアルした学校図書館については、地域住民への開放や地域住民による学校図書館の運営支援など、地域の教育力を最大限活用した取組となるよう、検討を続けていきます。



こちらのHPにも詳しく記載しています

# こどもたちが描く「学校図書館のカタチ」

令和7年度 実施校 6校の取組の様子を紹介します！

【問】学校教育課 TEL：0795-70-0811

## 新井小学校

### 「新井っ子ライブラリーワクワク図書館プロジェクト」

6年生が中心となり全校生の意見を集約し、ワクワクする計画案にまとめて大人に提案しました。実際に購入する備品を6年生が選定するなど、新井っ子がワクワクしながら学校図書館づくりを進めています。

#### ☆ココがポイント!!

○こどもたちが主役で進めています!!

- ・6年生が全校アンケートを実施し、意見を集約しました。
- ・全校生の意見をもとに6年生が原案を作成しました。
- ・保護者や地域の方も含めたプロジェクト会議で、6年生が原案を発表し、意見交流しました。
- ・実際に購入する備品を、6年生が選定しました。

○3月には、オープニングイベントを実施します!!



全校アンケートの取組

## 上久下小学校

### 「明るく・楽しく・くつろげる図書室をめざして」



地域ボランティアによる蔵書登録作業

こどもたちが保護者や地域の人々と一緒になって、「気軽に訪れることができる」、「本に親しみ、本を通してつながることができる」、「自然を感じ、くつろぐことができる」学校図書館づくりを進めています。

#### ☆ココがポイント!!

○地域と一体となって進めています!!

- ・プロジェクト会議のメンバーは、多くの地域の方で構成しています。
- ・長年お世話になっている図書館サポーターにもプロジェクト会議に加わっていただき助言をいただいています。
- ・膨大な蔵書の登録作業も、地域ボランティアがこつこつ担ってくれました。
- ・こどもたちの願いをどうやったら実現できるか、保護者や地域の大人が前向きに考えています。

## 北小学校

### 「本を介してみんなが集う場所をめざして」

北小学校は、以前から、地域ボランティアの支援を受けながら学校図書館の整備に努めています。今回は、さらに「静かに本を読むスペース」、「ゆったりくつろげるスペース」、「楽しめるスペース」を設けて、みんなが集う学校図書館づくりをめざしています。

#### ☆ココがポイント!!

○こどもと大人がとことん話しあって進めています!!

- ・プロジェクト会議のメンバーは、こども6名、教職員3名、保護者や地域住民12名のなんと総勢21名で構成しています。
- ・こどもが意見を発表するだけでなく、それをもとに、こどもと大人でグループ協議を熱心に重ねています。こどもも大人も遠慮なく意見を出しあい、めざす学校図書館のイメージを少しずつ明確にして進めています。



こども代表が参加するプロジェクトチーム

## 春日部小学校

### 「こどもの声でつくる“みんなの図書館”をめざして」

春日部小学校では、こどもたちの意見を大切にしながら、地域・保護者と協力して学校図書館づくりを進めています。全校で集めた声をもとに、必要な本や室内環境を見直し、こどもも大人も一緒に親しめる学校図書館の将来を考えています。

#### ☆ココがポイント!!

○こどもの意見を反映しながら学校図書館を考えています!!

- ・「図書館に置いてほしい本」や「図書館の構想」について、全校生にアンケートをとり、意見を収集しました。図書委員会や児童会が中心となり、本を選んだり図書室のレイアウトを考えたりして、全校生の思いを形にしています。
- ・図書委員会や児童会役員のメンバーも参加し、掲示物や案内チラシ、空間デザインなどのアイデアを出しあいました。自分たちの学校図書館を自分たちでつくり上げる気持ちが育っています。



児童会役員と図書委員会の合同会議

## 船城小学校

### 「ふなキッズの思いを形にする“ふれあい図書室”づくり」



こどもと大人と一緒にワークショップ

船城小学校では、ふなキッズ一人ひとりの願いが反映され、読書・交流・心の安らぎの場となる図書室をめざしています。こども・地域・学校が協力しながら、多目的で温かい「ふなキッズふれあい図書室」づくりを進めています。

#### ☆ココがポイント!!

○こどもの声を中心に、地域と一体となった図書室づくりを進めています!!

- ・プロジェクト会議では、児童代表も大人と一緒にワークショップに参加し、集めた意見を共有しています。活発に意見を交わし、自分たちの思いを反映する図書室づくりを行っています。
- ・ピーズクッション・観葉植物・本棚などのグッズ選定は、こども代表が大人と一緒にワークショップ形式で検討しています。
- ・図書室の地域開放を行い、歴乗「FUNAKI」（船城地区自治協議会主催）など、地域と一緒に学ぶ機会が生まれています。

## 春日中学校

### 「生徒会提案 学校図書館大改造プロジェクト」

生徒会内にプロジェクトチームを組織し、チーム主導で学校図書館のリニューアルを進めています。その名のとおり、思い切った大改造をする意気込みで、地域や教職員と意見を交わしながら真剣に取り組んできました。

#### ☆ココがポイント!!

○生徒会で目標とするゴールイメージをじっくり話しあって進めています!!

- ・「学校内での読書の状況がどのようになればいいと思うか」について話しあうことで、生徒が思い描く理想の学校図書館や、校内での読書生活の姿を丁寧にイメージ化してきました。
- ・「そのための方策として、どんなことをする必要があるのか」時間をかけて考えあい、自分たちの理想を求めていこうとする意識の高まりを大切に、進めています。
- ・学校図書館の改造に加え、メディアルームを第2図書室として活用することや、学級文庫の充実、また、廊下の活用といったアイデアも生まれています。



生徒会から地域へ提案